

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	コスモス保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成20年12月26日

総 評	<p>コスモス保育園は、平成15年4月1日に認可外保育所として開設し、翌、平成16年に社会福祉法人コスモス福祉会が設立され、認可保育園として現在に至っています。</p> <p>福知山市桔梗が丘の閑静な新興住宅地にあり、入所児童のほとんどが核家族の家庭であって、保護者の保育ニーズに合わせた保育「一人ひとりの子どもを尊重」した保育が行われています。</p> <p>設立後年数が浅い保育園ですが、園長のリーダーシップのもと、職員全員が法人の理念に基づき、個々に目標を持ち「げんきいっぱい えがおいっぱい」を保育目標に取り組んでいます。</p> <p>園舎内はとても明るく、随所に子ども主体の活動が行えるよう工夫され、子どもの生活の場として細やかな配慮がなされています。</p> <p>今後、地域に根ざした子育て支援の拠点として、更なる発展、成長が期待されます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会の設置 事務委員会・総務委員会・保育委員会・安全衛生委員会・給食委員会が設置され、課題・問題点を把握し、改善に向けての取り組みがなされています。 ・マニュアルの整備 衛生管理マニュアル等各種マニュアルが整備され、回覧、会議等により職員に周知し、マニュアル集が各保育室に設置されています。 ・食育への園児の関心を高める取り組み クッキング年間計画・菜園活動・陶器の食器使用等、食育への関心を高める工夫が伺えました。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在作成されている職員の「個人目標シート」を活用し、職員毎に評価・分析された結果を研修計画に反映されるとな良いでしょう。 ・子ども達が心地良く過ごすことのできる環境がしっかり整備されています。一方で、園の敷地は外部から自由に入出りできるような状況になっています。門扉の改善は安全な環境を整えることへの第一歩になりますので、必要な対策を講じられるとな良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	コスモス保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	2008年12月26日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

【自由記述欄】

・理念、基本方針は明文化され、職員に対しては職員会議を通じて、利用者に対しては入園のしおりや玄関等に掲示して周知されています。また、近隣の自治会や、小学校にも理念、基本方針について保育園要覧を作成し配布しています。

・2008年度からこれまでの課題を目標として事業計画が策定されました。

・管理者の責任が明確で、リーダーシップが発揮されていることがうかがえました。また、適宜自己評価されています。そのような管理者の考えについて、より客観的な分析を可能とするために、その経過を文書化され記録されると良いでしょう。

・管理者は、遵守すべき法令等を把握し、確認する努力がなされています。それらを効率よく周知徹底するためには、リスト化しておくが良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	B	

【自由記述欄】

- ・園長が福知山市の各行政機関と連携を図り、社会福祉事業の動向についての把握がなされています。
- ・必要な人材に関する計画は、障害児童の受け入れ等、見通しを立てた上での適切な人材確保がなされています。
- ・今年度から試験的に人事考課に取り組んでいます。
- ・職員の就業状況については、有給休暇の取得率を分析するなど勤務状況を把握すると共に、職員の悩みや相談に対して相談できる体制を整えられると良いでしょう。
- ・職員の「個人目標シート」が整っています。今後はそれらを活用し、個人の目標に沿うような研修等に参加できるようなシステムを整えられると良いでしょう。
- ・実習生の受け入れに対しては、基本的には受け入れ姿勢を明確にし、実習効果が上がるように計画を立案するなど積極的な取り組みが行われていますが、受け入れ記録の整備をすとなお良いでしょう。

- ・委員会の設置等、安全確保のための体系が整っています。
- ・常時園庭を開放することで地域へ資源の還元を図っていますが、安全確保の面からみると簡易な門扉が使用されています。不審者の侵入対策などに取り組みられると良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	B	
	Ⅲ-1-2 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	B	
	Ⅲ-1-3 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-2 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-3 サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	B	
	Ⅲ-3-2 サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-2 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

- ・プライバシー保護に関する規程、マニュアルが整備されていますが、園の実情に即したマニュアルに改善されるとなおいでしょう。
- ・「保護者からの意見等に関するマニュアル」や「子育て相談カード」等を設け、利用者が相談や意見を述べやすい環境づくりに努めています。また、迅速で適切な対応ができるような体制が整っています。これらの機能を更に活用して、サービス内容について、定期的な評価・見直しがなされるとなおいでしょう。
- ・保育の質の向上に向けて委員会を設置し職員間の連携が円滑になされています。
- ・保育サービスの開始にあたって、利用者に資料を配布し説明がなされています。
- ・途中入園の利用者に対しても同様の説明が望ましく、また、利用者から保育の重点事項について同意を得られるような工夫が加えられるとなおいでしょう。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	コスモス保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	2008年12月26日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

- ・保育計画が保育の基本方針に基づき、作成、実施されています。指導計画を園長・主任が定期的に評価、改善する体制が整っています。
- ・夕涼みの会、公園清掃行事などを通して、地域との協力体制が整っていることがうかがえます。
- ・年齢に適したクッキングや、畑での栽培収穫等が計画、実施されており、子ども達の食への関心が高まるような工夫がされています。
- ・一人ひとりの子どもの健康状態は、保護者からの伝達や連絡帳を通して、関係職員が把握できるよう各クラスの表に記載し、その日の保育に配慮しています。
- ・アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、診断書による確認や、献立表を基に食材等を保護者と共に考え、適切な除去食を提供しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	B

【自由記述欄】

・おおよその保育室は園庭に面しており、遊具の数や配置が考えられています。
 ・室内には、冷暖房のほか、加湿器が備えられています。

・廊下を仕切るカーテンを透明のものにしたり、本来廊下としていたスペースにロッカーを据えるなど、子ども達の動きを考えた部屋作りがなされ、子ども達が自主的に他クラスへ自由に行き来できる時間があり、遊びを通して自由な形で、異年齢交流をする姿が見られます。

・乳児保育に相応しい環境の整備や、保育士の子ども達に対する対応もきめ細やかになされており、家庭的な雰囲気の中で乳児保育が行われています。

・長時間保育室は量のスペースを設けるなど、子どもがゆったりくつろげる雰囲気作りに努めています。また、異年齢児の子どもとも遊べるように配慮されています。

・外廊下以外は身体障害者用トイレも設置されバリアフリー化されています。障害児保育実施のための環境は整備されていますが、障害児一人ひとりに応じた園での生活計画を立てられると大変良いでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

・全園児一人ひとりに連絡帳を用意し、園での様子や家庭での様子について保護者と日常的に情報交換を行うと共に、定期的に個別懇談・年齢別懇談を行い、必要に応じて記録されています。

・保護者参加型保育の保護者参観や祖父母参観が積極的に実施され、保護者の保育への理解が深まるようになってきました。

・児童虐待防止対応マニュアルや、衛生管理、食中毒対応の各種マニュアルが作成され、職員に周知されています。

・一時保育は、現在実施されていません。